

なんだ・かんだ

◆ 献眼 ◆

VOL17でアイバンクのことに少しふれましたが、今年1年間私はこのアイバンクの運動に関係することになりました。

1990年世界の盲人数は4000万人でした。このアイバンク運動がなければ、2005年には5200万人と推定されていましたが、3700万人と減少しました。そして今日何もしなければ、2020年には7000万人に増加すると推定されています。何とかこの様な視覚障害者の方に光を与えようという訳です。

当初、アイバンクに対して使命感を持って関係したわけではありませんでした。人に言われて訳の分からないままやらされていく程度の意識でした。

そんな中、今月の初旬献眼に立ち会うことになりました。98歳の女性が亡くなられ、ご遺族から連絡を頂き、私が眼科のお医者様をお連れしてご自宅まで行って参りました。眼球摘出は30分程度で終わり、出血は全くなき摘出後も義眼を入れて縫合するので、眼球を摘出したことは見た目では全く分かりませんでした。

非常に貴重な経験でした。上手く表現できませんが、感謝と感動と畏怖の念と死への恐怖となんとも複雑な心境でした。

先日その会の全国大会が長崎で開催され参加して参りました。

大会の中で、日本におけるアイバンク運動の創始者で、88歳の僧侶である講師の講演で次のような話がありました。

高知安芸の海岸で辻典子さんの書いた北原白秋の「雨」の碑に出会った。辻氏は309人のサリドマイド児の一人で手が無く、この書は足の指に筆をはさみ書いたもので、非常に達筆な文字であった。その後偶然に辻氏に会う機会に恵まれ話をしたところ、「私は、こういう体なので人の善意を受けて生きています。ですから何とか社会に役立ちたいと考えています。

力ある人は力を
力のない人は知恵を
知恵のない人は言葉を
言葉のない人は微笑みを
微笑みのない人は祈りを持って尚かつ、社会に役に立ちたい。
私は体に不自由があっても心の障害者にはなりたくない。」
この言葉を聞いて感銘を受け、自分が恥ずかしくなった。

来年もアイバンク運動に携わっているか分かりませんが、自分の事ばかりではなく、「照千一隅」時には回りに少し目をやって自分以外の人や物にも心を配らなければと思った次第です。



暑さ寒さも彼岸まで

今年は非常に厳しい残暑でしたが、お彼岸を過ぎたところで、朝晩が急に涼しくなってきました。やはり昔から言われておりますが、「暑さ寒さも彼岸まで」と言っただけでしょうか。

さて、先月一五日の終戦記念日に米国のサブプライムローン問題から、世界的に株が大幅に下落しました。日本でも三日間で1600円近く下げ、米国の金利を下げ取りあえず収束しましたが、根本的な解決にはなっておらず、今月に入っても英国の銀行で同じ問題から、取り付け騒ぎが起きやはり株価が大きく下げました。昨年来、現在の好景気も米国住宅バブルの崩壊や中国経済の失速がアキレス腱であるように言われています。景気指数もいささか勢いを無くしており来年以降の経済状態に不安を抱いております。今の内に何らかの手を打たなければ、でも何をすれば……。

代表取締役 服部 徹一郎

社員紹介

● 芦川 吉治 ●

今回は、建創グループの芦川の自己紹介です。

入社34年目の芦川と申します。家では音楽鑑賞、TVでメジャーリーグを観戦して、日本人メジャーリーガーの活躍を楽しみにしています。機会があれば醍醐味のある迫力プレーを本場で観戦したいと思っております。

仕事は建創企画グループに属し、主に塗装・営繕工事等を担当しております。塗装工事では近年光触媒の技術応用したコーティング材(外装用・内装用)、遮熱塗装といった地球環境の保全、生活環境の向上に適した塗装が、他方面から高い評価を得ています。

これからは、すこしでもいい地球環境にしたいと思っております。住宅の塗り替えの際に、弊社にお問い合わせ頂くようお願い申し上げます。より良い施工方法をご提案できるものと自負しております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

芦川はととても真面目で「男は黙って……」と言う男です。任せて安心、どうぞよろしくお願い致します。



■ 献眼登録 ■

現在日本には視覚に障害のある方が25万人います。その内約5万人は角膜移植で目が見えるようになります。角膜移植は亡くなられた方から眼球を速やかに(死後約15時間以内)に摘出しなければなりません。それには生前あらかじめ献眼登録をしておかれる事が重要です。しかしこの登録には強制力はなく、ご遺族からご連絡が無かったり、同意がなければ行うことが出来ません。その為登録されていても実施されるのは10%程度です。是非ご理解を頂き一人でも多くの登録をお願いしたいと思います。詳細は当社服部までお問い合わせ下さい。

本レターのご提供につきまして、ご不要・ご迷惑という方に付しましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社 チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/